

あま市保健対策推進協議会要旨

1 あま市保健対策推進協議会委員の交代について

昨年度、任期満了により、委員が改選され、あま市医師代表の富田悦充委員が会長に互選されました。また、前回の開催から異動あるいは役員の改選により、2名の委員さまに交代がありましたので、ご紹介させていただきます。

小中学校長会会長に大崎弘師 委員、老人クラブ連合会会長に宮治正三委員が就任されました。

2 令和2年度保健事業の経過報告について

(1) あま市母子保健体系図

妊娠前の一般不妊治療費助成事業から妊娠届、赤ちゃん出生、乳幼児期、入園・入学までの事業が時系列で表記してあります。

平成29年度から「妊娠・子育てつなぐサポート事業」を開始し、妊娠中から支援プランをたて、関係づくり、子育て支援、虐待防止に努めています。

今年度より新規事業として乳児健診において、歯科医師による0歳児歯科健診が始まりました。

(2) 母子保健事業一覧

母子健康手帳は、新型コロナウイルス感染症の影響から、令和2年度の交付数は減少の見込みです。

令和2年3月から新型コロナウイルス感染症拡大のため母子保健事業を中止し、6月から乳児健康診査、7月から1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査、8月から2歳児歯科健康診査、教室、相談事業を再開しました。

1歳6か月健康診査と3歳児健康診査は予定していた健診対象者を変更して、実施しています。

保健事業を中止していた期間においては、感染対策をとり、訪問・相談は実施しており、2か月頃までに実施する赤ちゃん訪問は拒否される方は少なく、不安を抱えて子育てをしている母が多いことが伺えます。

(3) 予防接種事業一覧

令和元年度の同時期を比べても、新型コロナウイルス感染症の影響による接種控えはほとんどなく、例年通りの接種率となっています。

(4) 成人保健事業一覧

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団がん検診等は全て中止し、医療機関で実施する個別がん検診等のみ実施しました。

集団検診の中止に伴い、個別がん検診受診者は大幅に増加しておりますが、令和元年度と比較した総受診者としては減少しております。

また、集団検診の中止に伴い、特定健診結果説明会や骨粗しょう症栄養指導などの事業が中止となり、施設の閉館や感染拡大防止のため各種事業も中止や縮小開催するなどしたため、全体的に実績は少なくなっています。

(5) 健康増進事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、健康福祉まつりを中止し、前期歯の健康センターも中止となりました。

また、食生活改善推進員及び生き生き推進隊の定例会や活動の機会も減少しました。

骨髄ドナー助成事業は、令和2年度は1名に助成を実施し、他に2名が実施予定となっております。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、今後自殺者数の増加が懸念されていることもあり、市長より市民に向けた自殺防止に関するメッセージを発信するなど、各種相談窓口の周知啓発を実施しました。

また、民生委員児童委員協議会を通じて、高齢単身世帯約3,000世帯に対し「こころの健康」に関するリーフレットを配布し、保健師が毎月民生委員児童委員協議会に参加するなど、情報交換、連携強化に努めました。

(6) 高齢者保健事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、特に高齢者は感染した場合に重症化しやすいため、4月から9月までの半年間は、高齢者保健事業を中止し、10月から感染防止に配慮しながら事業を再開しましたが、1月には再び緊急事態宣言が発出されたため、事業を中止しております。

また栄養教室については、食事の機会が感染の危険性が高いため、全て中止としました。

4 令和3年度保健事業計画（案）について

(1) あま市母子保健体系図

新規事業は特にありません。

(2) 母子保健事業

健康診査は、乳児健康診査は 39 回、1 歳 6 か月児健康診査は 33 回、3 歳児健康診査は 33 回の年間回数を予定しています。

(3) 予防接種事業

令和 2 年度同様に、予定しています。

新型コロナウイルス感染症対策として、高齢者インフルエンザ予防接種は、令和 2 年度に限り、無償としています。

大人の風しん（風しんの追加対策）は今年度で最後となります。

(4) 成人保健事業

令和 3 年度は新型コロナワクチン接種事業のため、集団のがん検診等は中止としますが、集団検診のみで実施しております、30・35 歳健診、生活保護世帯の方に実施するすこやか健診、及び大腸がん無料クーポン検診、肝炎無料クーポン検診に関しては令和 2 年度、3 年度の対象者に集団検診で実施予定です。

令和 2 年度と同様に個別がん検診は 6 月から 10 月の期間で実施します。

その他の事業については、新型コロナワクチン接種事業に支障のない範囲で一部期間を縮小するなどして感染防止に努めながら実施予定です。

(5) 健康増進事業

健康福祉まつりは、現時点では新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めながら、感染リスクの高い飲食を伴う模擬店の出店を取りやめるなど縮小開催の予定です。

健康マイレージは、新型コロナウイルス感染防止対策を取組内容に加え、一般の当選者数を 300 人から 600 人に増やし、当選商品に感染防止関連のグッズを取り入れるなど、コロナ禍における健康増進についての啓発に努めます。

自殺対策推進事業につきましては、コロナ禍における自殺者増加が懸念されるため、医師、保健師等が 24 時間対応するコールセンターや、自殺防止啓発用リーフレットの調剤薬局等への設置など、自殺対策を推進してまいります。

出前講座につきましては、新たに作成した「ずっと We Love あま！体操」を健康体操として、市民団体等へ周知、啓発してまいります。また職域に対しても、協会けんぽと連携し、市の健康づくり講座を利用してもらう等、積極的にアプローチしていきます。

(6) 高齢者保健事業

各種事業につきましては、新型コロナワクチン接種事業に支障のない範囲で新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら実施予定です。

昨年度まで「筋力アップクラブ」として行っていた教室を、新たな講師を迎え「ワクワクからだ教室」と改名し、引き続き3会場で、月1回年間36教室行い、フレイルやロコモ、認知症などの予防運動を行い健康寿命の延伸に努めてまいります。

5 健康づくり計画、歯と口腔保健計画及び食育推進計画に関する行政の取組

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント、教室等が中止となり、集団場面での啓発を行うことが困難な状況でした。そのため、今までと違う方法での市民アプローチとして、健康づくり計画の目標指標である「野菜摂取量増加」「運動習慣の増加」「こころの健康づくり」の3つの取組を推進するため、健康増進を図るための標語を入れた缶バッジを作成し、庁舎での手続き、面接、訪問等の職務において、市民と接する機会の多い市職員、民生児童委員、ボランティア団体等に配布し、身に着けていただくことで市民への啓発を行いました。

「野菜摂取量増加」については、保健センターを利用しない市民に対しても、広く啓発していくための新たな広報活動を考えていきたいと思っています。

また「運動習慣の増加」については、令和2年度においてはコロナ禍における外出自粛中の「運動習慣の増加」の一つとして、市政10周年記念事業で作成した市の歌「ずっと We Love あま！」の曲に合わせた体操を作成しました。令和3年度は、本体操を市民へ普及することで、本市の健康増進への取り組みのPRにも活用していきます。

第2次あま市歯と口腔保健計画取組については、令和2年度においては、公立保育園でのフロス実習は中止し、代わりにフロスの啓発リーフレットと、フロスを配布いたしました。

児童・思春期に対する歯間部清掃用器具の啓発について、健康福祉まつりで実施予定でしたが、健康福祉まつりが中止となったことで実施できませんでした。令和3年度については、健康福祉まつりが実施される場合は、感染症予防に配慮し、啓発を行う予定です。

8020運動の推進である、9020・8020表彰事業は表彰を予定していた健康福祉まつりが中止となったことにより、家庭訪問において表彰を行いま

した。10020表彰に関しては、該当者が1名みえましたので、年度末に家庭訪問により表彰の予定となっております。

食育推進計画については、親子料理教室や健康福祉まつりにて啓発予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました